

Global and Innovation Gateway for All

日本の教育が大きく変わる

Global and Innovation Gateway for All



建築課タイムズ

Architecture Division Times

第43号 令和3年2月

発行：豊橋市建設部建築課

2019年12月に文部科学省が発表した「GIGAスクール構想」に基づき、建築課では豊橋市の特別支援学校、市立高校を含める全小中学校に無線LAN環境を整備する工事を行いました。日本の教育環境が大きく変わる改革に携わりました。

GIGAスクール構想とは

GIGAとはGlobal and Innovation Gateway for Allの略称です。従来の黒板を使った一斉教育とは異なり、児童生徒1人1人にタブレットを配布し、個々に適した教育を行うとともに、多様化、デジタル化する社会に必要なとされる能力を養う計画です。そして、この構想を実現するには2つの環境を整備しなければなりません。

校内通信ネットワークの整備

児童生徒1人1台端末の整備

この2つのうち建築課では校内通信ネットワークを整備する工事を行いました。次ページにて工事の内容を説明します。

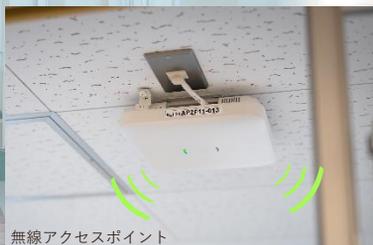
GIGAスクール構想について詳しくは文部科学省ホームページ：https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_00001.htm



無線アクセスポイントの設置

既存の校内のネットワーク設備に新たに児童生徒全員がネットワークに無線で接続できる「無線アクセスポイント」を設置しました。

これにより高速大容量の通信を行うことが可能になり、学校でタブレットを用いてインターネットを活用した授業が行えるようになります。



無線アクセスポイント

3-1

充電保管庫の設置

持ち運びのできるタブレットなどには必ず充電が必要です。そのため、各教室に充電、管理のできる「充電保管庫」を設置しました。

また、豊橋市の学校は多いところでは1教室に40人近くの児童生徒が在籍します。人数分のタブレットを一度に充電し、ブレーカーが落ちてしまうことを防止するため、タイマーを設置し、時間差で充電していきます。



充電保管庫



充電保管庫



タイマー

監督員にインタビュー



専任監督員のMさん

Q. 工事を通して大変だったこと、工夫したことを教えてください。

全ての学校に同じ設備を導入するとはいえ、それぞれの学校で校舎の構造や使い勝手は全く違います。設備の構成が違う学校もあり、施工業者の方々と協力して工事を行いました。また、アクセスポイントを取り付けるために天井内で配線作業を行わないといけませんが、限られた工期中、期間中児童生徒たちに教室から移動してもらうわけにもいかないので、授業の妨げにならない廊下に取付ける設計をしました。タブレットで授業が行えるなんて僕が小学生の時は思ってもいなかったので、とても羨ましいです！

【お気軽にお問い合わせください】

豊橋市建設部建築課

〒440-8501 豊橋市今橋町1番地（豊橋市役所東館10階）

TEL：0532-51-2563 FAX：0532-55-9091 (<http://www.city.toyohashi.lg.jp/34397.htm>)

工事期間中は、皆様にご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしく願います。

維持管理、予防保全的改修等のアドバイスをしています。ぜひご相談ください。